

宮崎県 地域本人交流会 報告

| | | | |
|------|--|-----|-------|
| 主催支部 | 宮崎県支部 | 担当者 | 生田みい子 |
| 開催日時 | 2009年1月17日(日) 13:00 ~ 16:00 | | |
| 会場 | J A ・ A Z M (アズム) ホール 宮崎県農協会館 2 F 小会議室 | | |
| 参加者 | 主催支部からの参加者 認知症の人(7)人、介護家族(7)人、支援者(3)人 | | |
| | 主催支部以外からの参加者 認知症の人(4)人、介護家族(4)人、支援者(1)人 | | |
| 内容 | <p>日程</p> <p>12:30 受付</p> <p>13:00 開会 吉村支部代表あいさつ 松本一生先生あいさつ</p> <p>13:20 (会場移動:ご家族)</p> <p>13:30 本人交流会(本人、サポーター、Dr) 家族のつどい(介護者、世話人)</p> <p style="text-align: center;">コーヒータイム(準備は自分たちで) お茶タイム</p> <p>15:50 松本先生 終わりの言葉 アンケート</p> <p>16:00 閉会</p> <p>本人交流会の様子・印象に残った出来事など</p> <p>1週間前は冬将軍到来で、車だけに依存している宮崎では、熊本から参加者が雪のために来られなくなるのでは、と心配しました。</p> <p>ご本人の参加者は11名(大分1名、熊本3名)で、大所帯の感がありどうなるものかと不安を抱えながらも、目前の慌しさのうちに開催となりました。</p> <p>松本一生先生にも参加していただき、自己紹介からスタートしました。</p> <p>話したいことをたくさん抱えていらっしゃる方、緊張のためか短く簡単に済まされる方、とそれでも一回りするうちに少しずつ、自由な感じで発言が出始めました。途中各自自由なおしゃべりタイムになって、司会が収集に苦労する場面もありました。</p> <p>ドリップを使って珈琲を入れ、羊羹を切り、お菓子を盛って・・・と準備をご本人主体でしていただくティータイムを持ちました。</p> <p>「珈琲おいしーい！」の元気な歓声も上がり皆で美味しくいただきました。</p> <p>その後、一層和やかさがまし、日頃の妻への思いや、進行防止に対する松本先生への質問も出て、時間が押し迫る頃には「今度は熊本に花見に行こう！」という案も出て、皆で盛り上がり、本人交流会を閉じました。</p> | | |

参加者の感想（認知症の人、支援者）

介護者の交流会は隣室で開催いたしました。心配しながらご本人と離れられる場面も見られました。

介護者11名、世話人4人。自己紹介を兼ねご自分の介護の状況を一人ひとりに話していただきましたが人数が多いため、時間を費やしたようです。

仕事を持ちながら、若年認知症の奥様を介護されている方の話に皆さん感動され、自分への力とされたようです。

アンケートからは

前向きになることが出来た。 ストレス発散になった。

本人に向う意識が変わった。 自分だけじゃない。安心感を得た。

押し付けるのではなく、どうしたいかを聞くようにしたい。

など具体的な気付きをされた方など、“つどい”は力を発揮したようです。

「もっと話したい！」気持ちを残して閉会となりました。

主催支部の反省・感想・意見など

「雪で道路が不通になったら来られませんねえ」とおっしゃる参加者もいらっしゃって気をもませた天候でしたが、寒波も遠のき、隣県から4組もの参加者を頂き、実施いたしました。参加者が多く緊張が解けにくく、まとまりに欠けた事、ご本人の本音に近づけなかった事等反省しきりです。

それでも「今日はいい笑顔が見られた。来て良かった。」という声を聞き、元気を頂きました。「それぞれに地域の雰囲気があって良くて、決まった方法はありません。」の松本先生の言葉励みに、次回の交流会に生かして行きたいと考えています。

